

第2回 京北地域小中一貫教育校検討協議会

◇日 時 平成28年7月21日（木） 19：30～

◇場 所 京北合同庁舎 大会議室

1 はじめに

2 前回の協議内容の確認

資料1

3 4小中学校の取組状況について

4 協議

（1）教育構想（素案）について

資料2

（2）施設整備の方向性について

資料3

（3）通学安全について

資料4

（4）PTA会長・保育所保護者会長会について

（5）その他

5 次回の開催について

第 1 回（6／17）の協議内容

1 検討協議会の進め方等について

規約を定め、互選により、検討協議会代表に久保敏隆 京北自治振興会会長、副代表に海老瀬篤司 京北自治振興会副会長と勝山正昭 周山自治会長を選出。

2 専門部会の設置について

検討協議会の議論を円滑に進めていくために、施設整備や通学方法等の個別課題に特化した協議を行う専門部会（「施設整備検討部会」と「通学安全検討部会」等）を設置し、各専門部会には、京北地域の3保育所保護者会長等にも参画いただく。

また、オブザーバーとして、右京区京北出張所長や京北3保育所長、府立北桑田高等学校長等にも、検討協議会に参画いただく。

子どもたちの学校生活に関わる課題については、PTA会長と保育所保護者会長による「4小中学校PTA会長・3保育所保護者会長会」を新たに設け、検討協議会の進捗状況に応じて段階的に検討していく。

3 当面の検討課題について

小中一貫教育校創設に向けた進め方や教育構想、施設整備の方向性、通学方法等の検討課題について、「京都 京北未来かがやきビジョン」に掲げる地域振興にもつながるよう検討を進める。

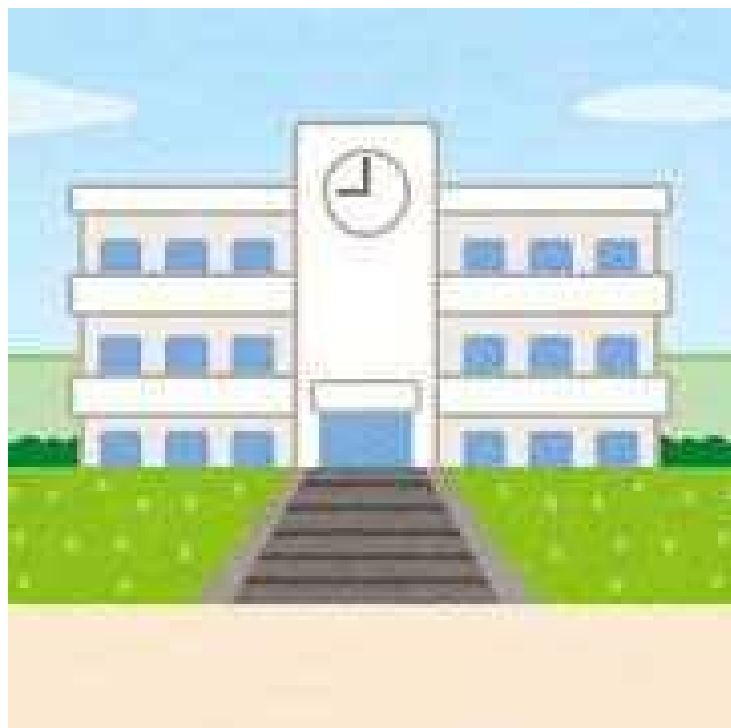
また、教育構想など学校づくりの根幹に関わる内容については検討協議会で協議し、施設整備や通学安全に関わる内容は、主に専門部会で協議する。

4 周知方法について

検討協議会の検討内容については、「協議会だより」の全戸配布により、全住民に周知し意見や質問を受け付け、また、必要に応じて説明会等を開催する。

京北地域小中一貫教育校 教育構想素案

京都市立京北第一小学校
京都市立京北第二小学校
京都市立京北第三小学校
京都市立周山中学校
京都市教育委員会





ゴミOの取組(京北第一小)



読書週間(京北第二小)



朝会の様子(京北第三小)

京北の子どもたち

- あいさつがしっかりできる。
- 素直でまじめに努力する。
- 学級の友だちとの結びつきが深い。
- 様々な学習の場で活躍している。
- 学年をまたがって仲良く遊んでいる。

- 男女比が偏ってしまう。
- 学習で多様なグループ活動ができてにくい。
- 多様な意見にふれあう機会が少ない。
- 人間関係が固定化しがち、同級生同士で刺激を与え合う機会が少ない。

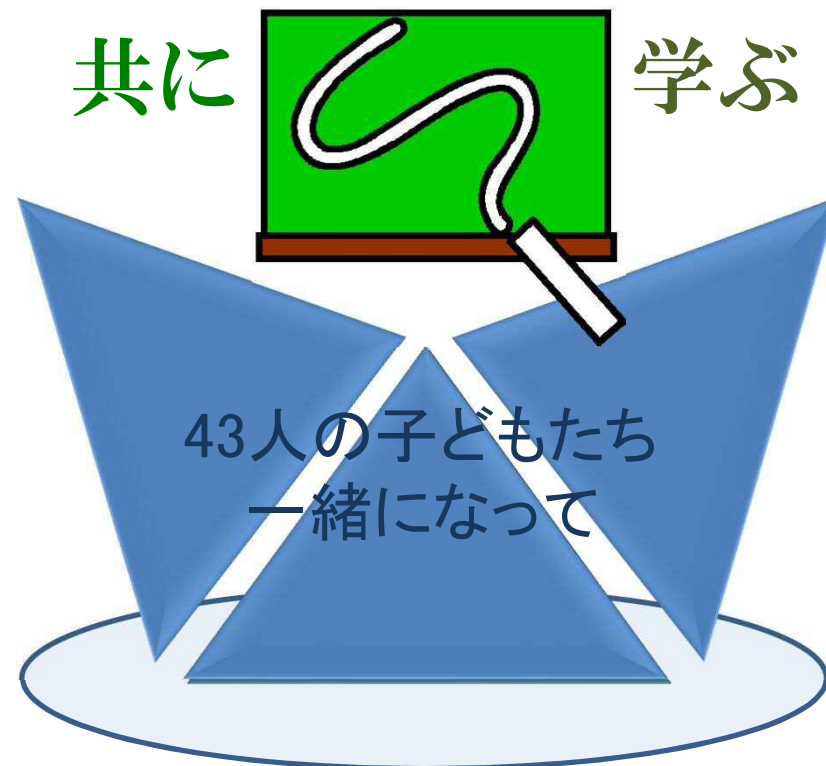
同じ学年の子どもたちで 一つの**授業**を
行事だけでなく**授業**でも

一小学
6年

二小学
6年

三小学
6年

同じ学年の子どもたちで 一つの**授業**を
行事だけでなく**授業**でも



周山中学校で

クラス分け・グループ分け
の体験

例えば…… クラス替えを通して

新たな気持ちでスタートと気持ちの切り替え

新たな
仲間づくり

新たな
学び合い

新たな
自分の発見

1組

2組

広がる人間関係・高まる自己形成

協力・折り合い

責任・自己有用感

刺激の与え合い・励み

新たな出会いと刺激を与え合う機会

多様な考えにふれる, 考える, 広げる

～できることは統合前から積極的に推進～

グループ討議で個の考え
を生かす。

3人×3グループ→5人×7グループ

学級・学年全体で論議し,
考えを深める。

9人の学年→38人の学年

活動の広がり

団体スポーツ, 合唱, 学校行事

協力, 支え合い, 向上心
を育む。

9人の学年→クラス替え19人
学級×2クラス

現5年生の最少人数(京北第二小9人)と統合した場合の学年合計人数の比較例

今後の教育活動の大きな軸

ICT機器の活用

Active Learning
アクティブラーニング

基礎基本の学力

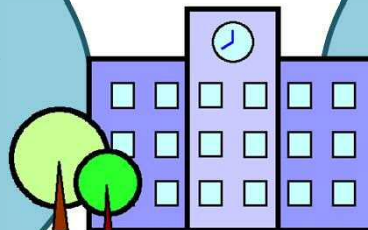
■ 探究的なプロセスで問題解決に向かう深い学び

■ 他者との協働や外界との相互作用による対話的な学び

■ 見通しをもち粘り強く取り組み次につなげる主体的な学び

楽しさ実感！

明日もまた
通いたい
学校



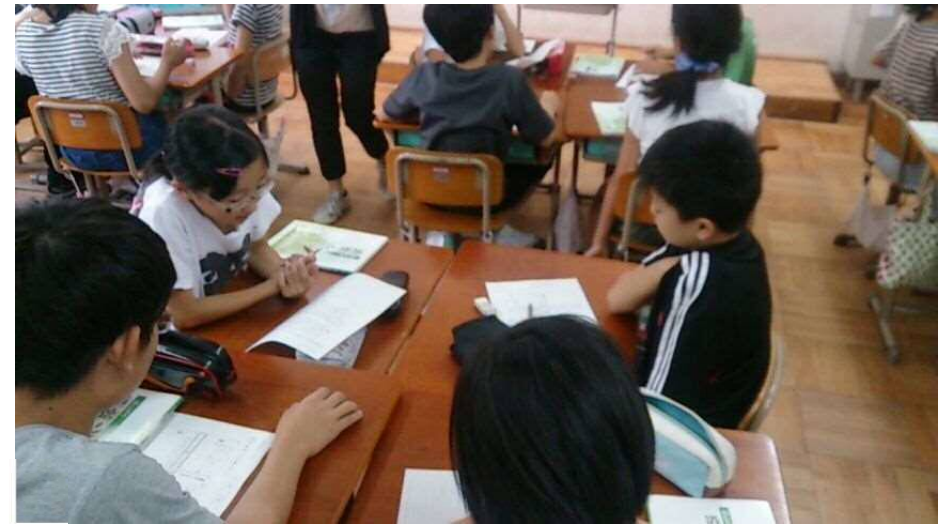
楽しさが学ぶ意欲に！

これからも
続けたい
学び





様々な形態での
学習が可能



～一斉学習からグループ討議へ～

～体育科を通じた集団演技, チームプレー～





～9年生が1年生に読書指導～



～1年生が9年生に卒業のお祝いを渡す～



～全校合同体育学習～

小中一貫教育校へ向けた“今から”の取組の充実

本年度「サマースクール」として

これまでの取組を一層深める

○5年生

砂川小学校5年生との交流

※6月の交流に引き続き実施

(京都府警警察学校)

○5・6年生

京都市たんけん隊

※京都の歴史に触れる「銀閣寺見学」

日本の鉄道史に触れる「京都鉄道博物館」

3つの小学校の子どもたちが混
じったグループで学習する。

○6年生・中学校生徒会

リーダー研修会

※生徒会のメンバーから中学校生活を学ぶ

周山中学校オープンスクールで

クラス分けを通した授業を体験する。

小中一貫教育校へ向けた“今から”の取組の充実

本年度より始める新たな合同学習

1・2年生

合同社会見学

※京都水族館の見学

一緒に感動体験
今後教科学習へと発展

3～6年生

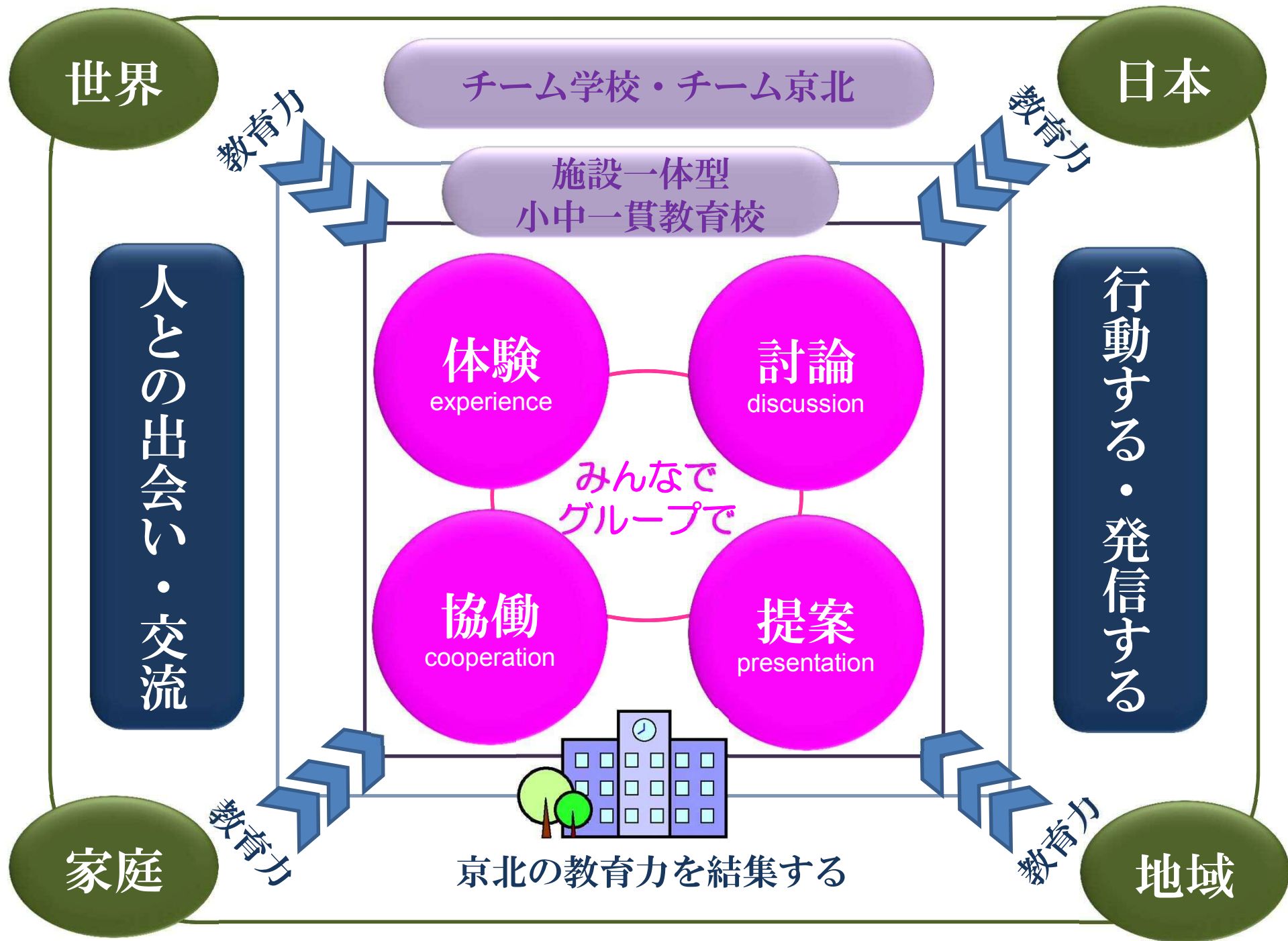
授業等の交流促進

※昔の道具調べ「社会科」合同学習

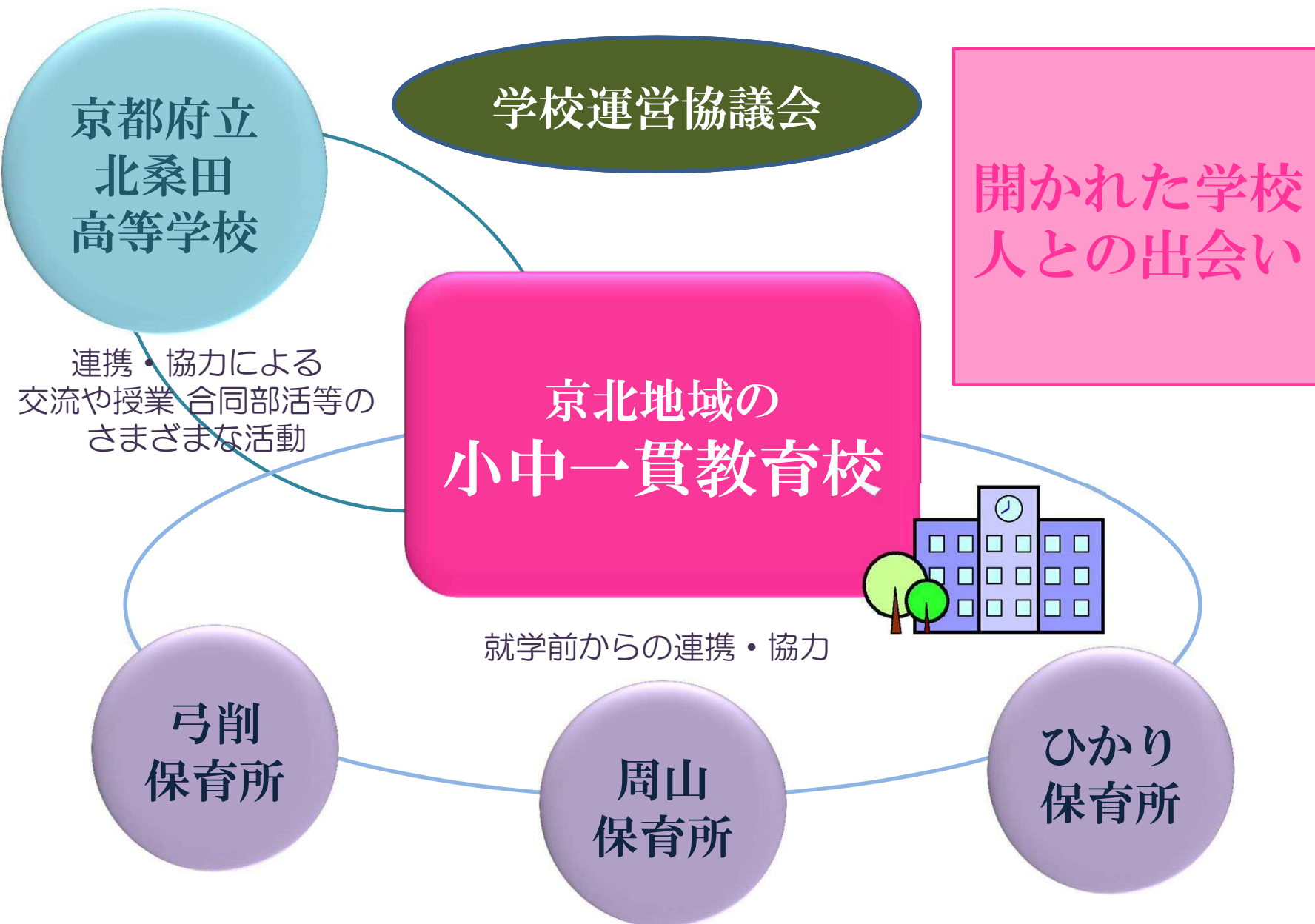
※京北第一小に集まりクラス分け

「道徳」「音楽」の学習を実施

学びの交流・広がり
今後周山中での授業交流へと発展

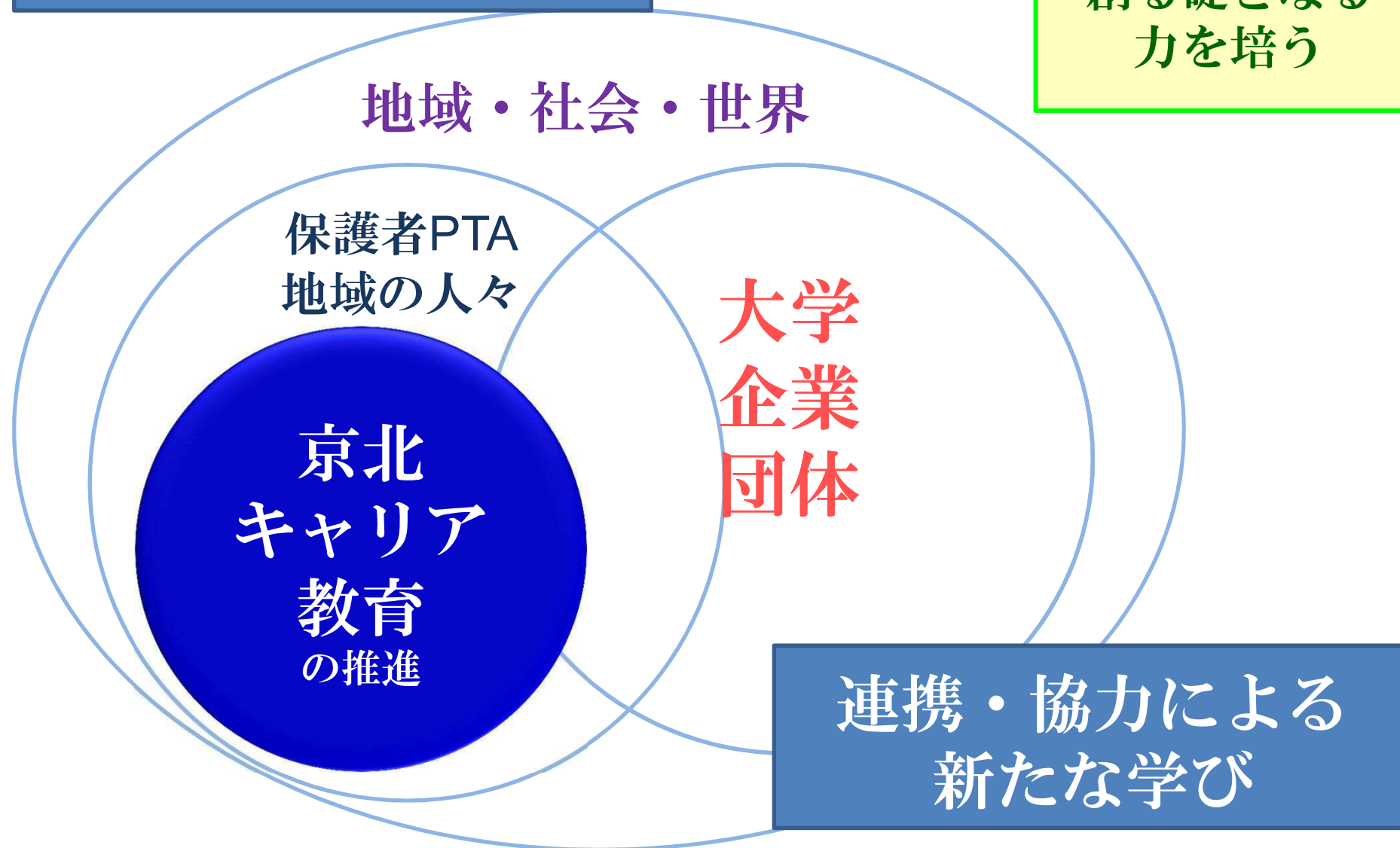


京北地域小中一貫教育校の目指すもの



人との出会い

自己の未来を
創る礎となる
力を培う



こんな授業で・こんな活動で

1年
生活科
きせつと
あそぼう

9年
生き方探究
チャレンジ
体験

弓削
保育所

周山
保育所

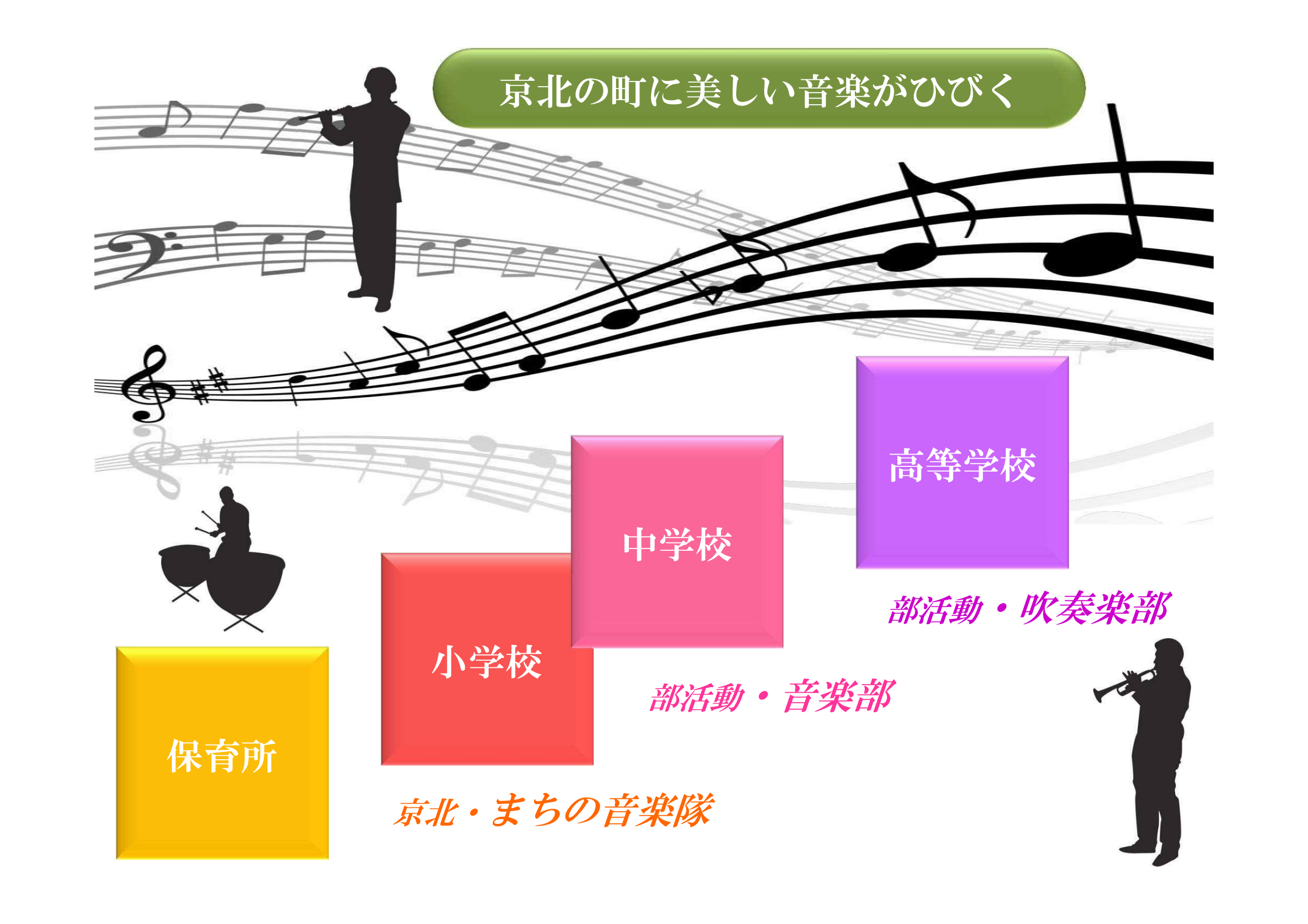
ひかり
保育所

お兄さんやお姉さんはすごいな！

学校ってどんなところかな？

保育所が
共に生きる学びの場に





京北の町に美しい音楽がひびく

高等学校

部活動・吹奏楽部

中学校

部活動・音楽部

小学校

京北・まちの音楽隊

保育所





小学校

中学校

高等学校

交通安全
子ども自転車
全国大会

自転車教室
自転車
キャンプ

部活動・自転車競技部

保育所

自転車の
まち
京北



自転車をツールにして
発達段階に応じた取組を！



キッズバイク 全国大会



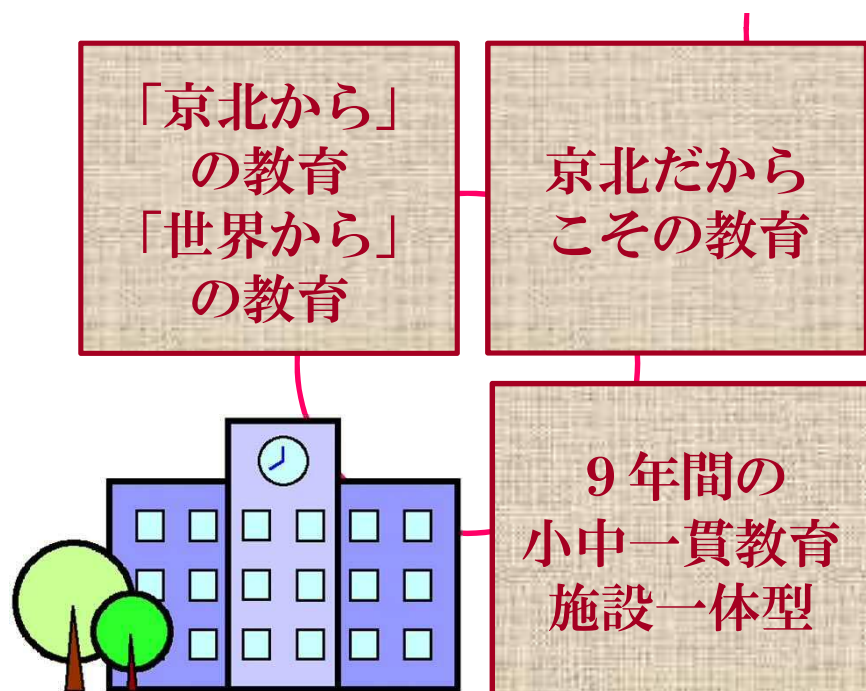


現在の取組のさらなる
充実・発展が開校
後の姿に生きてくる。



京北地域から
未来を担い
グローバル社会を
切り拓く
子どもを育成

小中一貫教育校として
京北地域ならではの
特色ある教育を実現



義務教育9年間の
一貫した教育方針の下
施設一体型の学舎で
「確かな学力」 (知)
「豊かな心」 (徳)
「健やかな体」 (体)
を育成

新たなステージ

④ × ③ × ②

JUMP!

3rd
stage

9 年

将来の夢の実現に向け
自ら考え 判断し 行動する

8 年

今を知り 未来を見つめて
行動する

STEP!

2nd
stage

7 年

基礎 基本の充実・向上・発展
世界をひろげる 可能性をひろげる

6 年

5 年

学びを広げる・深める・高める

HOP!

1st
stage

4 年

3 年

「学びの基礎 基本」
「基本的な生活習慣」
「集団生活のきまり」
を身に付ける

2 年

1 年

学びの基礎を身に付ける

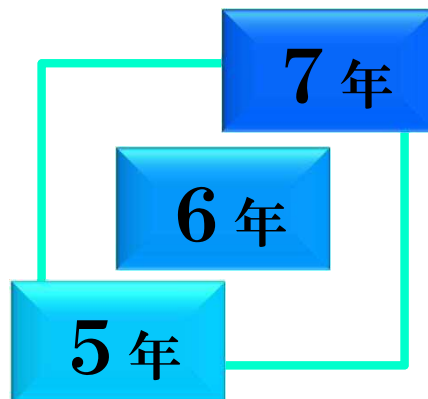
施設一体型
小中一貫教育校



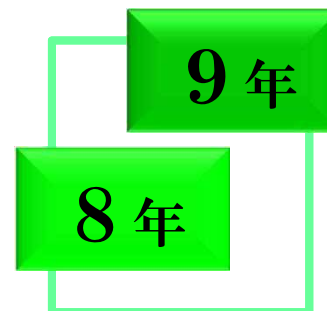
特色ある取組

小学校の教員と
中学校の教員が
協働で取り組む

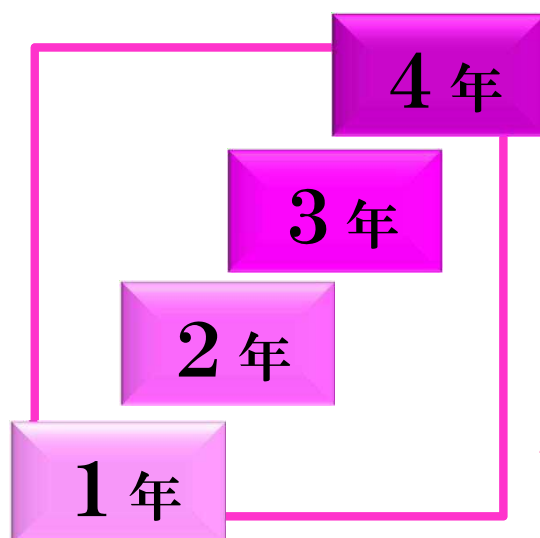
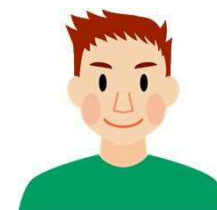
9年間の
小中一貫教育



2nd stage



3rd stage



1st stage

小学校の高学年から
中学校の教員による**一部教科担任制**を
小学校担任教員が
連携・協力して取り組む

一人一人の状況に応じて
9年間の継続的な指導・支援
育成学級・LD等通級指導教室

特色ある取組

これからの
国際化社会・情報化社会に
生きる力



- 小学校1年生から英語に親しむ
- 表現力や対話力を培う授業
- 論理的思考力やコミュニケーション能力を高める授業
- 積極的に人とかわる人間関係形成力を培う授業



国際理解を深め
国際社会へとつながる学習



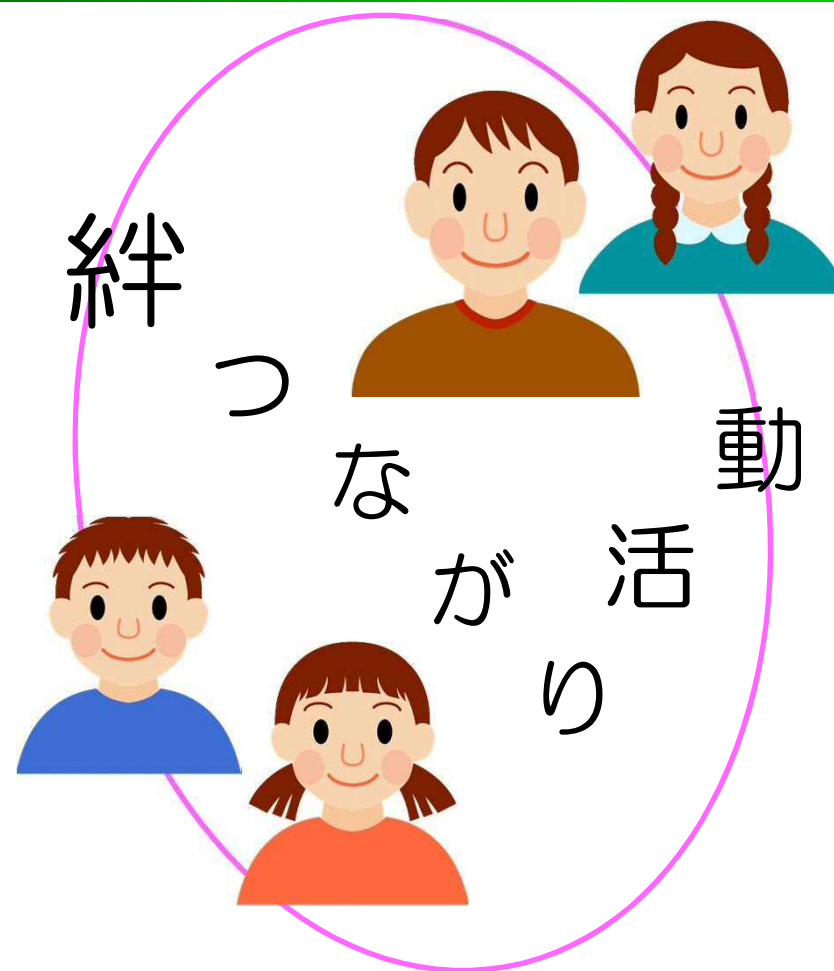
グローバル社会で活躍する
人材を育てる



ピア・サポート

9 学年が同じ学舎に集う
施設一体型・小中一貫教育校
京北地域ならではの
異年齢集団による縦割り活動

- 自己有用感や仲間意識を高める
- この活動を活かして積極的に
地域の取組や諸行事に参画し
地域とのかかわりをより深める



合同
合唱

合同
競技
体育大会

給食
清掃
当番活動

協働
学習
授業・学習

児童会
生徒会
特別活動

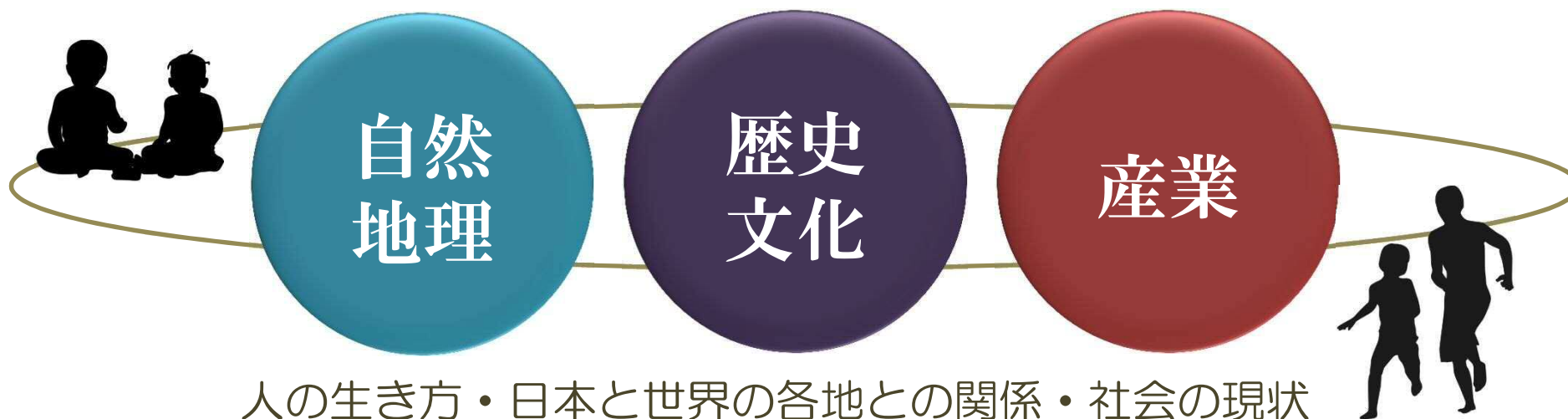
部活動
クラブ

地域
交流

京北ふるさと未来科〈仮称〉

生活科・総合的な学習の時間から

京北各地域(周山 細野 宇津 山国 黒田 弓削)の



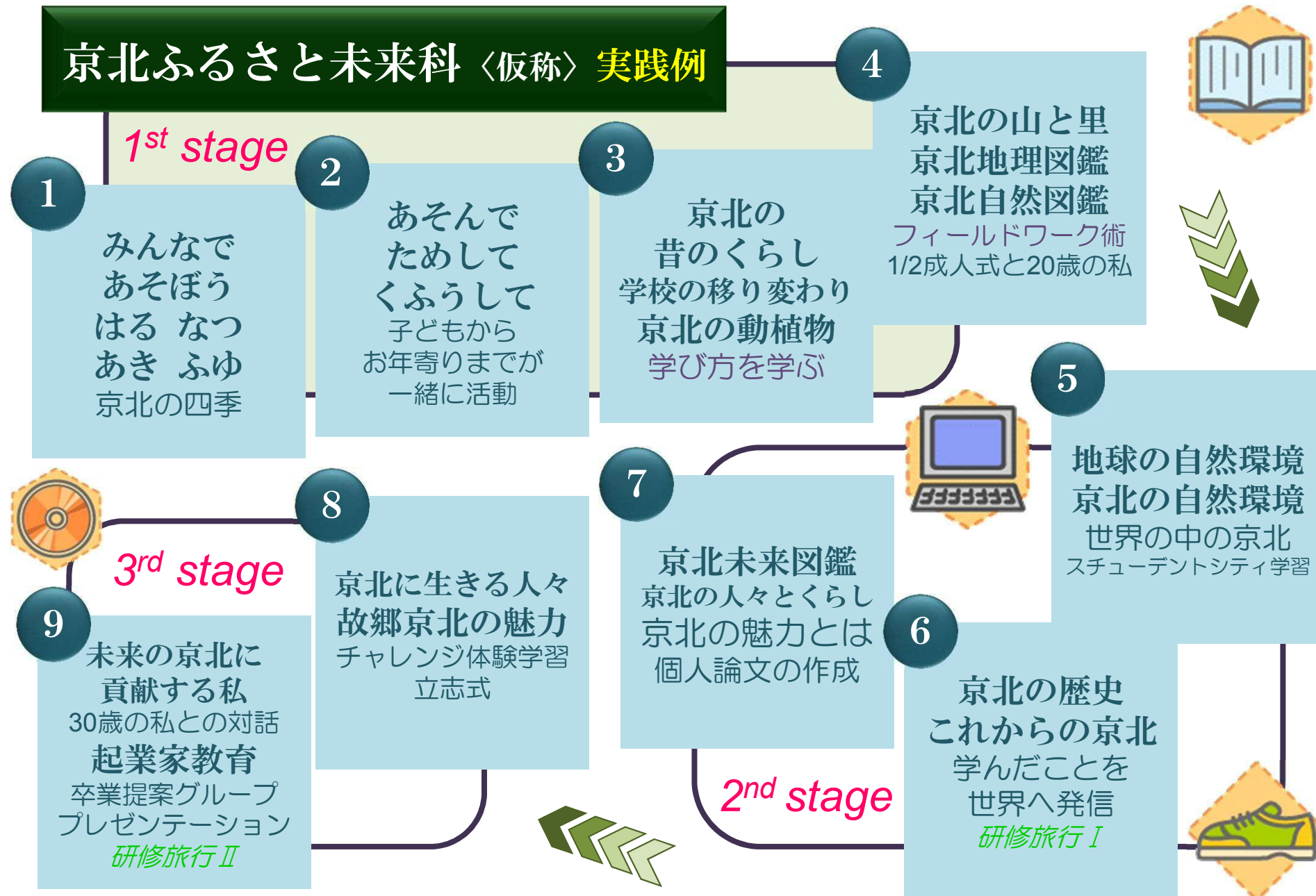
人の生き方・日本と世界の各地との関係・社会の現状

京北の発展する未来の姿を構想する子

京北地域の活性化に貢献する子

特色ある取組

京北ふるさと未来科〈仮称〉実践例



京北里山食育学習〈仮称〉



9 学年全員に自校調理給食を実施
季節を味わう行事献立
京北産食材を用いた地産地消の献立

4 小中学校の
これまでの取組に
ならって

保護者・地域の人々
と連携・協力して

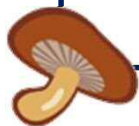
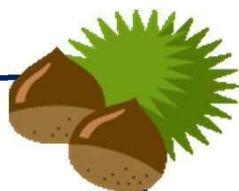
食に対する正しい知識

実践例

地域に根ざした
野菜栽培の活動

収穫した野菜の
調理や販売

食文化への理解と感謝



京北の里山の食文化とは...

京北自然体験・環境教育

京北の豊かな自然環境を活かした学習の推進
4 小中学校で実践されている活動の継承発展
体験を体験に終わらせない，意味を考える話し合い活動の重視

実践例

- 川遊び 鮎つかみ
- 芋ほり



実践例

- 山岳における体験的な活動
- 登山技術習得の学習

実践例

- 天体観測
- 星ふる里・京北



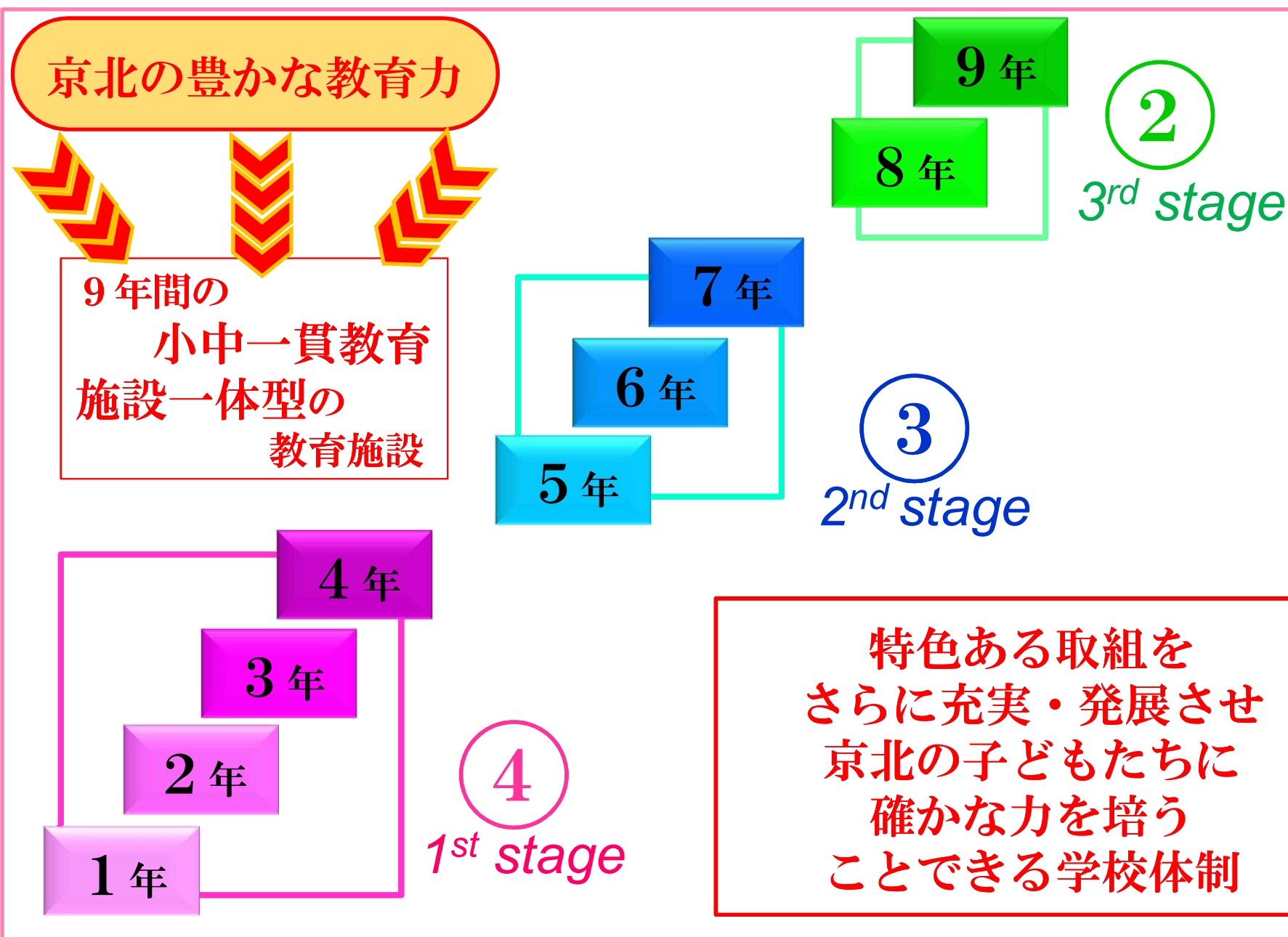


メディアセンターの機能を持つ 図書館

＜京都 京北未来かがやきビジョン＞ ～図書のみち構想～

京北地域には子どもから大人まで本に親しんできた素地があります。これらを活かし住民の方々の積極的な参加・運営のもと、本に親しむことができる京都一の図書のまちを目指します！

施設一体型・小中一貫教育校創設の意義



京北地域小中一貫教育校 教育構想素案

京都市立京北第一小学校

京都市立京北第二小学校

京都市立京北第三小学校

京都市立周山中学校

京都市教育委員会



施設整備の方向性について

1 当面の取組予定

(1) 検討協議会のもとに「施設整備検討部会」を設置する。

○「施設整備検討部会」メンバーの確認

検討協議会構成メンバーに加えて、3 保育所保護者会長、4 小中学校 P T A 本部役員若干名、各学校教職員若干名にも参画頂く。

(2) 「施設整備検討部会」においてワークショップを実施し、整備計画（候補）地を基に施設整備構想を検討する。

○施設整備へ向けての情報・意見交換

○施設整備等の諸条件整理

○施設見学 など

2 整備計画（候補）地について

(1) 昨年 7 月の統合要望書に「最新の校舎を現周山中学校敷地に建設していただきたい」との要望をいただいている。

(2) 各学校の敷地状況は次のとおりである。

	京北第一小学校	京北第二小学校	京北第三小学校	周山中学校
敷地面積	13,159 m ²	13,318 m ²	12,061 m ²	59,259 m ²
既存グラウンドに新築する場合、工事中の代替グラウンド	元周山小グラウンド 周山中グラウンド	代替なし	代替なし	メイン又はサブグラウンド
備考				元周山小敷地 (8,531 m ²) も 合わせて活用可能

通学安全について

1 通学方法の基本的な考え方

- (1) 学校統合により、遠距離となる児童について、教育活動に支障の無いよう、公費負担により登下校に必要なバスは確保する。
- (2) 具体的には、今後、検討協議会に設置される予定の専門部会「通学安全検討部会」で検討を進める。

2 京北地域における通学の現状

- スクールバスの運行……京北ふるさと公社に委託【詳細は(1)参照】
28年度現在、京北地域では5路線(京北第一小、京北第二小)、2臨時便(京北第三小の短縮日等、4校の校外活動等の移動)のスクールバスを運行している。
※5路線のスクールバスは、平成11年度の学校統合に伴い運行され、現在に至っている。なお、5路線のスクールバスのうち3路線は住民も利用できる。
- 平成11年度の学校統合以前から遠距離通学として定められた地域については、その地域の児童生徒は、路線バスを使用している。【詳細は(2)参照】
例…熊田、下熊田地域(元周山小地域)、周山中の遠距離生徒
- 冬季のみ路線バスで通学している児童がある。【詳細は(3)参照】
- 周山中学校は自転車通学を認めている地域がある。(五本松、百ノ角、下、鳥居地区)

(1) スクールバスの運行

No.	対象校	対象地区	距離 時間	利用 人数	乗車 定員	車両	備考
1	京北 第一小	矢代線(矢代・宇野地区)	約11km 約25分	7人	15人	バス	住民利用可
2		細野線(細野長野地区)	約10km 約20分	5人	29人	バス	住民利用可
3		細野線(細野余野地区)	約8km 約20分	11人	29人	バス	住民利用可
4		宇津線(宇津地区)	約15km 約30分	21人	29人	バス	
5	京北 第二小	山国黒田線(黒田地区)	約12km 約20分	7人	26人	バス	
臨時	京北 第三小	田貫線(田貫地区)	約6km 約10分	1人	10人	ワゴン1 台を適宜 利用	短縮授業日の下校時のみ (年間20回程度)
	小3校 中1校	通学以外の学校教育活動 (校外活動・中学校部活動等) の移動		(随時)			

※京北第三小の田貫地区児童は、通常は路線バスに乗車

〈参考〉平成 11 年度に 6 小学校を 3 小学校に統合

- ・周山小，細野小，宇津小⇒京北第一小学校（元周山中グラウンド跡）
- ・山国小，黒田小⇒京北第二小学校（元山国小跡）
- ・弓削小⇒京北第三小学校（元弓削小跡）

（２）遠距離通学の児童生徒

京北町時代に定められた地域について，バス通学を認めている。

なお，バスは８路線あり，スクールバスの利用も含めた人数は下表のとおり

（28 年度乗車人数）

校名	路線名 種別	宇津線	矢代線	長野線 (細野)	余野線 (細野)	弓削線	小塩線	黒田線	田貫線	計
京北 第一小	ふるさとバス	6	11	5	11					6
	スクールバス	21	〈混乗〉	〈混乗〉	〈混乗〉					48
京北 第二小	ふるさとバス						1			1
	スクールバス							7		7
京北第三小	ふるさとバス								1	1
周山中	ふるさとバス	12	2	8	0	32	20	5		79
計		39	13	13	11	32	21	12	1	142

（３）冬季のみ路線バスで通学している児童

京北町時代から，積雪等を考慮し冬季のみバス通学を認めている地域

五本松地区（京北第一小）	7 名
下地区（京北第二小）	7 名
塩田地区（京北第三小）	3 名
井崎地区（京北第三小）	4 名
上川地区（京北第三小）	0 名
計	20 名

* 乗車期間は，11 月～3 月の 5 ケ月

3 学校統合により，遠距離となる地域（京北第二小・京北第三小校区）

○周山中を起点とした距離・時間

校 区	バス停	距離	時間
京北第二小	灰屋口	約 15km	28 分
	小塩	約 11km	22 分
京北第三小	上川	約 10km	18 分
	田貫公民館前	約 9km	17 分

*バス停は，現在，児童生徒が居住する最遠地域

*時間はふるさとバスの時刻表から算出

〈参考〉「京北地域内公共交通事業者連絡会議」

現在、京北地域の公共交通の利便性の向上や効率化を図るため、「京北地域内公共交通事業者連絡会議」を開催し、都市計画局歩くまち京都推進室、右京区役所京北出張所、教育委員会調査課、京北病院、社会福祉協議会、京北ふるさと公社等の公共交通の関係者が集まり、京北地域の公共交通のあり方を検討している。

〈取組例：社会実験〉

- ①周山駅と地下鉄太秦天神川駅のＪＲバス運行
 - ②北桑田高校生を対象とした狭間谷ルートの帰宅便の運行（料金２００円）
 - ③スクールバスとふるさとバスが同じ路線を走る「宇津線」の一本化社会実験。（スクールバス乗車児童がふるさとバスに乗車）
- ＊具体的には、「京北ふるさとバスたより」などで情報発信。

京北ふるさとバス路線図(8路線)…別紙

京北バス路線図（京北ふるさと公社ＨＰから）

